

# 令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

教科 : 理科

## Research ⇒ 現状分析・課題把握

- 1年生・・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒授業や観察・実験にも意欲的に取り組んでいる。発言も活発に取り組んでいる。今回の定期考査でも、80点以上が43%に達している。反面中学校の学習の仕方にまだ慣れない生徒も見られ、丁寧な声かけ・適切な指導が必要と思われる。
- 2年生・・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒練習プリントなどに意欲的に取り組んでいる。実験・観察にも進んで取り組み、実験結果からわかることを話し合い、考察している。今回の定期考査では、実験・観察の技能に関する問題の正答率が高かった。今後は知識の確実な定着と、思考力・表現力の向上が課題である。
- 3年生・・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒実験・観察や問題演習に意欲的に取り組んでいる。授業中の発言も積極的な生徒が多い。今回の定期考査では、知識に関する問題の正答率が高かった。今後は技能や思考力・表現力の向上とともに、1・2年次の学習内容についても復習し、合わせて着実に知識を定着させることが課題である。

## Plan ⇒ 課題解決のための主な取り組み(計画)

### 《 I 基礎的・基本的な知識・技能の『習得』 》

- 1年生・・・プリントや問題集を活用し、単元の中で復習を多く取り入れ、知識の着実な定着を図る。実験・観察に多く取り組ませ、実験器具の操作などの実験技能やレポート作成などの、基礎的・基本的な技能を着実に習得させる。
- 2年生・・・練習プリントや問題集を活用し、単元の中で復習を多く取り入れ、知識の着実な定着を図る。実験・観察に多く取り組み、実験操作やレポート作成などの基礎的・基本的な技能を着実に習得させる。
- 3年生・・・練習プリントや問題集を活用し、単元の中で復習を多く取り入れ、1・2年の学習内容も合わせて、知識の着実な定着を図る。実験・観察に多く取り組み、実験操作やレポート作成などの基礎的・基本的な技能を着実に習得させる。

### 《 II 思考力・判断力・表現力等の『活用』する力の育成 》

- 1年生・・・観察や実験からわかることを自分なりの考えとして整理しまとめさせる。意見を出し合うことで思考力・判断力・表現力を育成する。他の意見を聞き、自分の考えを振り返ることで、思考力・表現力をさらに高める。
- 2年生・・・実験結果をグラフ化し規則性を見出すなど考察し、班での話し合いやレポート作成、クラスでの発表をし、思考力・判断力・表現力を高める。学習の中で生じた疑問について考え、調べてまとめることで思考力・表現力を高める。
- 3年生・・・実験結果をグラフ化し規則性を見出すなど考察し、班での話し合いやレポート作成、クラスでの発表をし、思考力・判断力・表現力をさらに高める。単元の内容に関わる身近な問題を調べ、それらをまとめながらさまざまな課題に対して自分なりの考えや判断力を身に付けさせる。

### 《 III 『学ぶ意欲や態度』の向上、学習習慣の定着 》

- 1年生・・・学習内容と日常生活との関連や、日項目にする自然・生物・現象と科学とのつながりを紹介しつなげることで、科学の原理を学ぶ意義を確認し、学ぶ意欲の向上を図る。復習を通して学習習慣の定着を図る。
- 2年生・・・学習内容と日常生活との関連や、様々な科学技術の歴史や活用例を紹介し、科学技術の原理を学ぶ意義を確認し、学ぶ意欲の向上を図る。定期的に復習の機会を設け、学習習慣の定着を図る。
- 3年生・・・学習内容と日常生活との関連や、さまざまな科学技術の歴史や活用例を紹介し、また自ら調べることで、学ぶ意欲の向上を図る。定期的に復習の機会を設け、学習習慣の定着を図る。